



VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE

卓越性にあふれる世界

卓越性にあふれる世界

卓越性にあふれる世界

1755年に創業したヴァシュロン・コンスタンタンは、270年近く一度も途切れることなく時計製造を続ける世界最古のマンユファクチュールであり、卓越した時計製造と洗練されたスタイルを何世代にもわたり熟練の職人により継承し、輝かしい遺産を守り続けてきました。

メゾンが創作する、高級時計の頂点に立ち控え目なスタイルの極致をゆく時計には、ヴァシュロン・コンスタンタンならではの技法や美意識が表現され、最高峰の仕上げが施されています。

ヴァシュロン・コンスタンタンを代表するコレクション「パトリモニー」や「トラディショナル」、そして「メティエ・ダール」、「オーヴァーシーズ」、「フィフティシックス」、「ヒストリーク」などでは、つねに比類ない歴史遺産と革新の精神が一体になっています。さらにメゾンでは、時計に精通した顧客の方々の難しい要望に応え、「レ・キャビノティエ」部門を通じて特注によるユニークピースの提案も行っています。

「できる限り最善を尽くす、そう試みる事は少なくとも可能である」。ヴァシュロン・コンスタンタンがこの言葉を社のモットーに選んだのは、単なる偶然ではありません。何世紀にも渡って伝統と革新を巧みに融合させてきたヴァシュロン・コンスタンタンは、時のビジョンを表現するために必要な時計技術や美的デザイン、芸術的および人的手法を手に入れ、それらを育成してきました。空の征服に乗り出したり、偉大な旅行者の足跡をたどるなど、どのような場合でもメゾンは、そのストーリーを文字盤にミニチュアで描く、あるいはメカニズムの核心部に取り入れるなどの挑戦に取り組みました。このような壮大な叙事詩において主役を演じるのは、やはり人です。高度なクラフトマンシップへの愛や、ともに共有する価値への強い愛着がチームの意欲を高め、マンユファクチュールにおける日々の生活を律しているのです。


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE



概要

時計入門者

マンユファクチュール

手作業による英知

コレクション



卓越性にあふれる世界

概要

—
時計入門者

—
マニファクチュール

—
手作業による英知

—
コレクション

高級時計に夢中の上質なコレクターたち

高級時計の熱心なコレクターや入門者は増加の一途をたどっていますが、ヴァシュロン・コンスタンタンはこうした愛好家を味方にしました。彼らは、ヴァシュロン・コンスタンタンの控え目な気品に当然ながら親近感を抱き、そのため、このような自然な上質感に本来備わっている感覚をもっと知りたいと考えます。時代にしっかりと向き合ってそこに留まり、ときには時代の一步先をゆくヴァシュロン・コンスタンタンは、自社のアイデンティや厳格な基準を満たしながら、現代生活にマッチするようなオーダーメイドの時計を創作して、このような特別な個人の要望にできるだけ対応したいと考えています。


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE





VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE

卓越性にあふれる世界

相互交流に貢献するマニュファクチュール

ジュネーブ郊外のブラン・レ・ワットに構える本社マニュファクチュールは、ヴァシュロン・コンスタンタンの国際事業本部です。ここでは、経営本部を始め、設計、R&D、ヘリテージ、カスタマーサービス&レストレーションの各部門やトレーニング部門が収められています。製造は、それぞれ分かれた工房によって組織され、調整、ケーシング、コンプリケーション、クロノグラフとトゥールビヨン、グランド・コンプリケーション、メティエ・ダール(彫金、エナメル、ジュエ・セッティング、ギョシェ彫り)、レ・キヤビノティエ、検査および保証などがあります。

フランスとスイスの国籍をもつ建築家ベルナール・チュミが設計した建物は、2005年に竣工し、2015年に増築されました。これら2つの年は、メゾンの大きな節目となる創業250周年と260周年にそれぞれ対応しています。ハイテク感を設計コンセプトにした1万7000平方メートルに及ぶ社屋は、環境に配慮した現代の基準を満たす金属やコンクリート、スティール、木材、ガラスなどで作られ、ヴァシュロン・コンスタンタンが大切にしている精神、すなわちハーモニーの追求に基づいてデザインされました。高級素材も持続可能な構造にマッチするように使われ、エレガントなラインに工房の本質が表現されています。大きな張り出し窓を設えた社屋を通り抜けてあふれる自然光は、ここで育まれる本物の価値や陽気な気分を伝えます。建築全体が、創造性や自然な流れ、人と人との交流を促進するためにデザインされているからです。

ヴァシュロン・コンスタンタンのDNAに組み込まれている力強い活気は、部品製造を担うヴァレ・ド・ジュウのマニュファクチュールにも行き渡っています。熟練の職人たちは、部品に陰影を付け、美しい外観を作り出す作業に専念します。機械加工された部品を手作業で仕上げるのは、ヴァシュロン・コンスタンタンの紛れもないしるしだからです。職人の器用で作業に熟達した技は、面取りをはじめ、丸みをつける仕上げや平滑な仕上げ、研磨やペルラージュ仕上げに不滅の痕跡を残します。そこにはっきり見て取れるクラフトマンシップへの愛は、マニュファクチュールで職人が繰り広げたさまざまな人間ドラマへと誘います。例えば、こんな物語をもったペルラージュの専門家がいます。彼女は、娘がまだ幼い頃に娘を自分のワークベンチに連れてきました。そして今現在は、同じワークベンチで若い女性が働いています。母の情熱を娘が継いだのです。

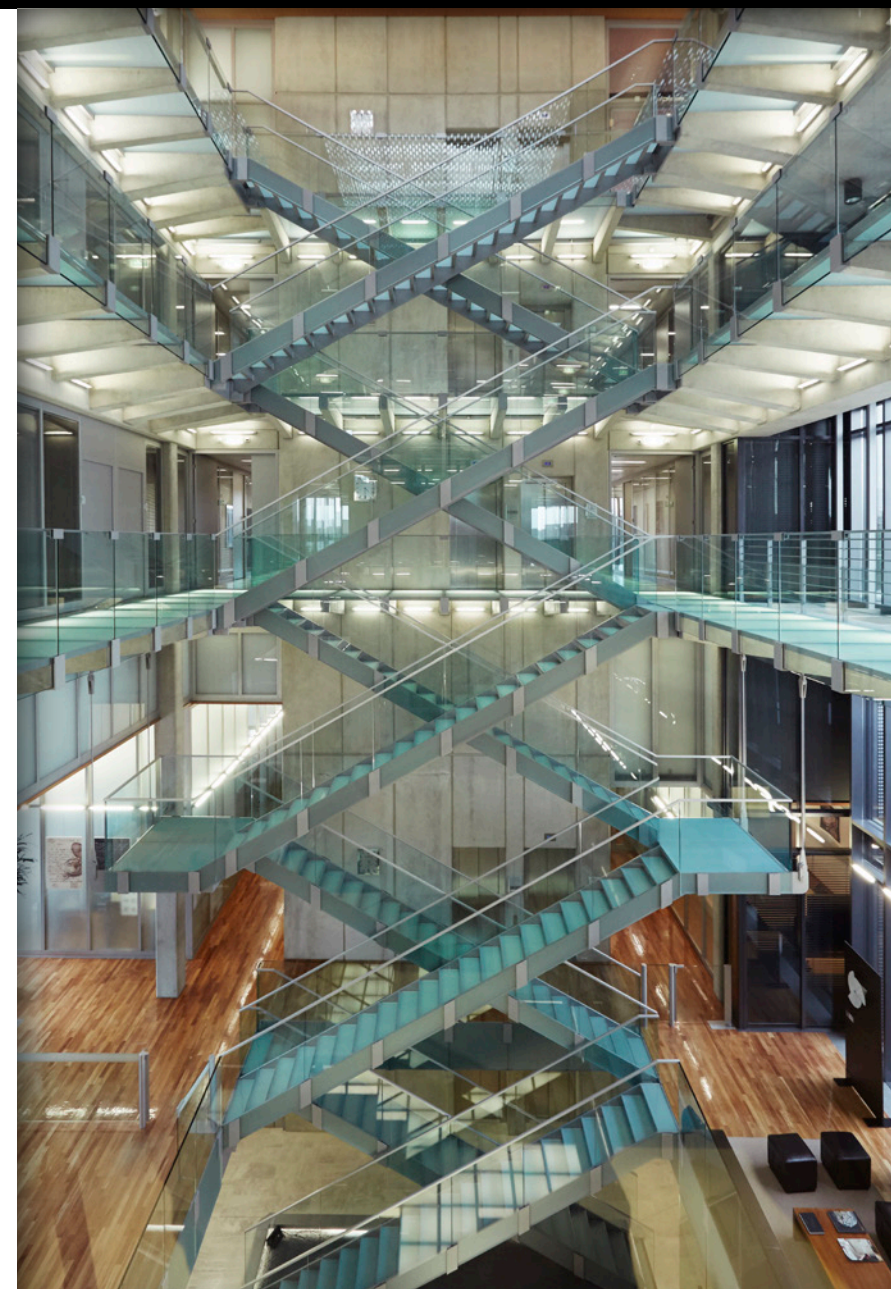
概要

時計入門者

マニュファクチュール

手作業による英知

コレクション





VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE

卓越性にあふれる世界

概要

時計入門者

マニファクチュール

手作業による英知

コレクション

手作業による英知

ヴァシュロン・コンスタンタンらしい時計技術と美的デザインを語るしるしは、製造過程のあらゆる場面において、常に正確さを追求する卓越した専門技術に表現されています。時計の精度を改善するムーブメント部品によく似た形のマルタ十字を1860年にロゴに採用したのも偶然ではないのです。技に習熟し、淀みなく行われる作業のすべてを主導するのは、まさに人の手です。マニファクチュールの中で世代から世代へ、マスターウォッチメーカーから見習いへと受け継がれてきた昔ながらの技能は、この手作業によって守り続けられています。それぞれの職人の専門技術は、リレー競技のバトンのように人から人へと手渡され、各職人の職人としての質もまた、先人たちの質に依存しているのです。

製造の各工程で時計の部品は、ゴールドやスチール素材を問わず、外から見えようが見えまいが、主要な機能部品だろうが微小なスクリューだろうが、すべてが入念な配慮をもって作られ、装飾され、検査されます。ここではいっさい妥協の余地はなく、間違いは許されませんが、しかしその一方で謙虚さもかなり重要です。マニファクチュールのマスターウォッチメーカーの一人はよくこう言います。「私たちが謙虚さを忘れたとしたら、時計が私たちに思い起こさせるのは、勢力均衡の世界だ」と。冷静で忍耐強く、己を極めてハイレベルに保つウォッチメーカーたちは、絶えず新しい挑戦に取り組んでいますが、中には自身の職を一から作り直す大胆な者さえいます。「常に前進し続けなくてはならない。私のお気に入りのモデルがいつも次の製品になるから」。研いだ工具、繊細に尖った切れ目、研磨された角、ペルラージュ仕上げ・・・「私たちは、部品の表面に艶消しと光沢を交互に施して輝きの効果を作り出し、モチーフに精細をもたらす」。

高いコストをかけて追求する卓越性には、深い意味があります。マニファクチュールに一貫して受け継がれてきたのは、常に進行する伝統と革新の融合の舵取りをするのは、人の手だということです。現在の時計づくりに欠かせない最先端の工作機器で作られたものでも、ヴァシュロン・コンスタンタン特有の品質基準に合致してはなりません。その精密な手業の極致は、オーダーメイドの工房に表れています。シリーズ生産としてまとまった形をとるモデルでさえも、人手の介入でユニークピースに仕立てることができます。精密さとカスタマイズは、まさに完璧な手業の究極の姿です。



卓越性にあふれる世界

260年以上に渡って卓越した技術と美的デザインを展開してきたヴァシュロン・コンスタンタンのコレクション

フラッグシップ・コレクション

- **パトリモニー**: 繊細にバランスを保つプロポーション、ピンと張ったカーブ、無駄のないラインとスリムなケース。ヴァシュロン・コンスタンタンの1950年代モデルから想を得たミニマル・デザインが特徴です。
- **トラディショナル**: クラフトマンシップや代々受け継がれてきたジュネーブの時計づくりに敬意を表したコレクション。
- **オーヴァーシーズ**: 1996年に発表され、2016年にリニューアルした「オーヴァーシーズ」は、モダンかつシック&スポーティな感覚、実用性と快適なスタイルを主張し、インターチェンジャブル・プレスレット/ストラップを装備。この自動巻き時計は、旅や世界に広く目を開く人々に向けたコレクションです。
- **フィフティシックス**: 2018年に発表されたこのコレクションは、カジュアルながらもエレガントなコスモポリタンのスピリットにマッチした時計として開発され、現代生活の日常の場面で着けられるようにデザイン。1956年発表モデルの特徴的なディテールをデザインに生かし、シンプルなモデルから複雑ムーブメントを搭載するモデルをゴールドとステンレススティールで展開。サファイアクリスタルのシースルーケースバックから、ブランドのシンボルマークのマルタ十字のモチーフをオープンワークであしらったオリジナルのゴールド製ローターが鑑賞できます。


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE



概要

時計入門者

マニファクチュール

手作業による英知

コレクション



卓越性にあふれる世界

概要

時計入門者

マニュファクチュール

手作業による英知

コレクション

スペシャル・モデル

- **ヒストリーク:** マニュファクチュールの卓越した時計技術と美的デザインを称えながら、ヴァシュロン・コンスタンタンを代表する歴史的傑作を現代に再現したコレクション。
- **メティエ・ダール:** 名匠たちによって代々受け継がれてきた伝統的な装飾技法のエナメルや彫金、ジュエリー・セッティング、ギョシェ彫りなどに焦点を当てた特別モデル。「レ・アエロスティエ」「メカニカル・アジュレ」「ヴィル・ルミエール」「スフェール・セレスト」など、何年もかけてさまざまなテーマを展開。素材とカラーを自在に操り、目を見張る素晴らしい世界を創り出しています。
- **ハーモニー:** 新しく甦ったクッションシェイプにヴァシュロン・コンスタンタンの卓越した時計技術と美的デザインが息づく。優美なカーブに包まれたケース、スクエアのベゼル、ラウンドのガラスは、1928年のクロノグラフを想起させる。コレクションのモデルにオリジナルの革新的なキャリバーを搭載。
- **マルタ:** その名がマルタ十字に由来し、一目でわかるトノーシェイプを特徴とするこの時計は、時計のデザインにヴァシュロン・コンスタンタンが発揮するあふれるばかりの多彩な創作力を語っています。
- **ウール・クレアティブ:** ダイヤモンドで飾り、贅沢でグラマラス、大胆な雰囲気を出すフェミニンな時計は、ヴァシュロン・コンスタンタンが1920年代や30年代、70年代などに創作したアイコンックなモデルを思わせます。
- **ケ・ドリル:** メゾンが誕生したジュネーブの歴史的な地名にちなんで命名されたこのコレクションは、顧客の注文に応じて時計をカスタマイズすることによって、18世紀のキャピノティエの名匠たちが育んだ時計づくりの伝統の存続を図ります。
- **1972:** アシメトリーの風変わりなデザインが特徴のコレクションは、ジュエリー・ウォッチのみならず、ダンディなスタイルの演出にも向いていて、変幻自在の個性を放ちます。
- **レ・キャピノティエ:** 時計に精通する愛好家の顧客に向けたユニークピースや、オーダーメイドの時計により一貫してコレクションを充実させてきた「レ・キャピノティエ」は、時計技術と美的デザインの複雑さにおいて異例の高度なテクニクがあらゆるモデルに駆使されています。ヴァシュロン・コンスタンタンの妙技の極みです。


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE



1755年に創業したヴァシュロン・コンスタンタンは、270年近く一度も途切れることなく時計製造を続ける世界最古のマニュファクチュールであり、卓越した時計製造と洗練されたスタイルを何世代にもわたり熟練の職人により継承し、輝かしい遺産を守り続けてきました。

メゾンが創作する時計は、控えめで気品豊かなスタイルに高級時計の素晴らしい価値が体現されています。その一つ一つに、最高峰の職人技と仕上げを維持しながら、ヴァシュロン・コンスタンタンならではの技法や美意識が表現されています。

ヴァシュロン・コンスタンタンを代表するコレクション「パトリモニー」や「トラディショナル」、そして「メティエ・ダール」、「オーヴァーシーズ」、「フィフティーシックス」、「ヒストリーク」などでは、つねに比類ない伝統と革新の精神が体になっています。さらにメゾンでは、時計に精通した顧客の方々の難しい要望に応え、「レ・キャビノティエ」部門を通じて特注によるユニークピースの提案も行っています。

#vacheronconstantin



VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE

